

平成29年 北海道内における住宅用火災警報器の奏功事例

※ 朝(6:00から9:59時まで)、昼(10:00から13:59まで)
夕方(14:00から17:59まで)、夜(18:00から21:59まで)、
深夜(22:00から1:59まで)、早朝(2:00時から5:59まで)

件数	月	発生時間	時間区分※	建物種類	感知した タイプ	出火場所	設置場所 (鳴動場所)	出火原因	覚知者	原因概要	発見・通報・状況等
1	1	2:29	早朝	戸建住宅	煙式	就寢室	就寢室	その他	その他	蓄熱レンガを布に包み出火	居住者が2階の寢室に設置されているベッドで暖を取るために、ストーブ天板上で熱したレンガを布で何重にも包んだ状態で入れていたところ、その蓄熱により巻いていた布から出火し、ベッド上の寝具を焼損したものの。
2	2	8:27	朝	戸建住宅	煙式	台所	台所	こんろ	居住者	ガスこんろを誤って点火し、煙が発生したもの（非火災）	1階に煙が充満し、台所の住宅用火災警報器（煙式）が鳴動しているので居住者が119番通報したものの。その後、ガスこんろのグリルに火が点いているのを見出し、グリル操作ボタンが点火位置にあったため、消火位置にする。 鍋で味噌汁を温めていたこんろの火を消す際に、誤ってグリルのボタンを押してしまったもの。
3	2	0:15	深夜	戸建住宅	煙式	就寢室	就寢室	調査中	隣人	調査中	隣人が帰宅したところ、隣家の建物から住宅用火災警報器が鳴動していることに気がつき119番通報したもの。なお、出火時は居住者は不在であった。 早期発見・通報により、焼損は2階の居室部分のみで収まったもの。
4	2	17:06	夕方	戸建住宅	熱式・ 煙式	台所	台所・ 階段室	こんろ	居住者	鍋で油を加熱中にその場を離れたもの	居住者がガスこんろで油を加熱している最中にその場を離れたため、油が過熱され発火し出火し、台所の壁の一部を焼損したもの。住宅用火災警報器の鳴動音で気づいた居住者が119番通報し、駆けつけた警察官が油の入った鍋を屋外へ搬出後、消防へ通報し現着した消防隊が消火済みであることを確認したもの。
5	2	14:00	夕方	アパート・ マンション 等	煙式	台所	その他 （不明を 含む。）	こんろ	居住者	鍋の空焚き	居住者は甘酒をガスこんろで温め、うたた寝をしてしまったが住宅用火災警報器のブザーで目を覚ました。内容物が蒸発し、煙が発生しただけで火災にいたらなかったもの。 なお、119番通報は、煙臭く、ブザーを聞いた隣人が通報した。
6	3	4:24	早朝	その他	煙式	居間	就寢室	不明	居住者	不明	二世帯居住の長屋住宅で、出火世帯の4名は住宅用火災警報器が鳴る前に火災を見出し自力で避難。 隣家世帯の1名は、2階で就寝中に寢室に設置の住宅用火災警報器が鳴ったため、目を覚まし1階へ自力で避難。その後隣人居住者の協力で屋外へ避難したものの。
7	3	2:23	深夜	戸建住宅	煙式	台所	台所	こんろ	居住者	鍋の空焚き	発見、通報者は1階居間で休んでいたところ、住宅用火災警報器の警報音に気づき、2階を確認すると、こんろ上の片手鍋から煙が出ているのを見出した。こんろの火を止め、窓を開放した後、119番通報したものである。 火が上がっていないかったため、初期消火は実施していない。
8	3	4:20	早朝	アパート・ マンション 等	煙式	就寢室	就寢室	電気	隣人	電気コードの半断線	居住者が不在時に、隣人が隣の部屋から住警器が鳴動していることに気づき、部屋の扉を破壊し進入したもの。室内にて約1mの炎を確認し、別の隣人に消火器を持ってきてもらい初期消火を行った。
9	5	15:44	夕方	アパート・ マンション等	煙式	台所	就寢室	こんろ	通行人	鍋の空焚き	居住者がカセットガスこんろで煮込み料理をしていたのを忘れ、居間で寝てしまい空焚き状態となり煙が発生し、寢室の住宅用火災警報器が作動した。警報器の音に気づいた通行人が呼び鈴を押すも居住者は気づかず、その者が同アパートの別室居住者に119番通報を要請し、消防隊が到着後呼び鈴を押したところ、居住者の目が覚め本人がこんろを消火した。
10	5	5:00頃	早朝	アパート・ マンション等	煙式	居間	その他 （不明を 含む。）	電気	隣人	たこ足配線により出火	アパート2階住人が、朝5時10分頃、ランニングをしようと玄関を出たところ、建物内で警報音が鳴っており階段を下りていくと1階の防火戸が締まっていた。防火戸を開けたところ煙臭く、臭いの元を辿ると1階の号室とわかった事から、119番通報し、3階に住むアパートの大家に伝え、到着した消防隊により消火した。

平成29年 北海道内における住宅用火災警報器の奏功事例

※ 朝(6:00から9:59時まで)、昼(10:00から13:59まで)
夕方(14:00から17:59まで)、夜(18:00から21:59まで)、
深夜(22:00から1:59まで)、早朝(2:00時から5:59まで)

件数	月	発生時間	時間区分※	建物種類	感知した タイプ	出火場所	設置場所 (鳴動場所)	出火原因	覚知者	原因概要	発見・通報・状況等
11	5	16:28	夕方	戸建住宅	煙式	就寢室	就寢室	たばこ	居住者	たばこの吸い殻がごみ箱に落下し、出火	2階の居室で喫煙をしていた居住者（子）が外出した後、1階にいた別の居住者（妻）が2階の住宅用火災警報器が鳴動していることに気づき2階を確認したところ、子供の部屋から煙が出ていることを発見して火災を覚知し通報に至ったもの。
12	6	6:40	朝	戸建住宅	煙式	台所	就寢室	こんろ	居住者	ガステーブルのグリルで魚を焼いているのを忘れ、放置したもの	居住者が魚をガステーブルのグリルで焼いたまま放置し、魚が焦げて発煙、寢室に設置していた住宅用火災警報器が作動、居住者が警報音に気づきバケツの水で初期消火した後、119通報したもの。
13	6	11:30	昼	戸建住宅	煙式	台所	就寢室	こんろ	居住者	カセットこんろの消し忘れ	居住者が台所で鍋をカセットこんろの火にかけたまま、その場を離れ、別室で家事を行っていたところ、警報音と煙に気が付き、こんろの火を消し、火災には至らなかったもの。直後に帰宅した主人が家の中に煙が充満していた為、119通報した。
14	6	6:00	朝	アパート・マンション等	熱式	台所	台所	こんろ	緊急通報システム	ガスこんろを点けたままの居眠り	家人が、ガスこんろに鍋をかけた後、居眠りをしたため鍋が放置状態となり、熱気が部屋に充満し台所に設置していた緊急通報システムの熱感知器が作動し、管理会社を通じて消防覚知。管理会社より火災現象は無いとの続報があるが確認のため出動したもの。
15	6	7:24	朝	アパート・マンション等	煙式	台所	台所	こんろ	居住者	グリルの火をつけたまま放置し、グリルの内の油かすに着火	居住者が魚を焼いたまま、別の場所で家事をしていたところ、住警器の警報音により、台所付近から炎が上がっていることに気づき、コップ1杯の水で消火するとともに、グリルの排気口に蓋をかぶせ、窒息消火を行い、初期消火したもの。
16	6	23:00	深夜	戸建住宅	煙式	台所	台所	こんろ	居住者	調理中に寝ていたことで鍋が過熱され煙が充満したもの	別室で寝ていたところ、住宅用火災警報器が作動し警報音に気付いて家人が目覚めたときに室内が煙で充満していたが、ガスこんろの火は安全装置で自動消火され、家人本人により鍋を水に浸した後、消防へ通報したもの。
17	6	6:45	朝	その他	煙式	居間	就寢室	ストーブ	居住者	ストーブ天板上に扇風機を置いたのを忘れたままストーブを点火し、扇風機のプラスチック基底部を焼損	居住者が起床し、ストーブを点火後シャワーを浴びている最中に住宅用火災警報器が鳴っているのに気づき、台所のコップで水を汲み、水をかけて初期消火に成功後、自ら119番通報した。ストーブ天板上に扇風機を置いたのを忘れたままストーブを点火したため、扇風機のプラスチック基底部を焼損したもの。
18	7	14:15	夕方	戸建住宅	煙式	台所	台所	こんろ	居住者	調理中、火をつけたまま別室でテレビ鑑賞していたところ鍋のカレーが焦げ煙が充満したもの	テレビ鑑賞中に台所の住宅用火災警報器が作動し、直ぐにガステーブルの火を消した後、鍋を水に浸す。周辺の焼損はなかったもの。
19	7	6:14	朝	アパート・マンション等	煙式	台所	就寢室	こんろ	居住者	こんろを使用中に、その場を離れたことにより煙が充満したもの	居住者が、台所のこんろで味噌汁を温めていることを忘れて、洗面のためその場を離れたところ、住宅用火災警報器が作動して、その事に気が付いた。その時、居室内は煙が充満していたが、こんろの火を消したことにより火災に至らなかったもの。
20	8	18:57	夜	アパート・マンション等	煙式	台所	就寢室	こんろ	居住者	鍋の空焚き	ガスこんろに鍋をかけていた際、友人が来訪し玄関で話しをしていたところ、鍋が空焚き状態となり煙が充満し、住宅用火災警報器が鳴動したもの。すぐにこんろの火を消すことができたため、火災には至らなかった。

平成29年 北海道内における住宅用火災警報器の奏功事例

※ 朝(6:00から9:59時まで)、昼(10:00から13:59まで)
夕方(14:00から17:59まで)、夜(18:00から21:59まで)、
深夜(22:00から1:59まで)、早朝(2:00時から5:59まで)

件数	月	発生時間	時間区分※	建物種類	感知した タイプ	出火場所	設置場所 (鳴動場所)	出火原因	覚知者	原因概要	発見・通報・状況等
21	8	22:50頃	深夜	戸建住宅	煙式	就寝室	就寝室	電気	居住者	クリップ式ライトの熱によりバスタオルに着火	居住者が寝室で就寝中、寝室に設置している住宅用火災警報器の発報により、ベッドに付けていたのクリップ式ライトにかけてあるバスタオルから火煙が出ているのを発見し、燃えているバスタオルを浴室にもって行きシャワーにて初期消火に成功後、119番通報したものの。
22	8	17:50	夕方	戸建住宅	煙式	その他	その他 (不明を含む。)	火遊び	居住者	火遊び	帰宅時に何かの警報音が鳴っていることに気付いた発見者(小学生)が外出中の母親に連絡を取り、初期消火を試みたが消火できず、避難した。その後、帰宅した母親により消火したものの。消火したのち携帯電話で119通報したものの。居室内床一部焼損。
23	9	18:18	夜	アパート・マンション等	煙式	台所	台所	調査中	居住者	電子レンジの加熱によりサランラップから発煙	居室内台所の電子レンジでさつまいもをサランラップで包み加熱したところ、サランラップが溶け煙が発生。レンジフード付近の住宅用火災警報器が発報し、居住者が119番通報したものの。電子レンジ内及び居室内に焼損なし。
24	9	8:09	朝	戸建住宅	煙式	台所	不明	こんろ	居住者	ガスこんろを点けたままその場を離れたもの	味噌汁を温めようとし、ガスこんろを使用したまま台所を離れたため、鍋が焦げ台所に煙が充満していたが火は見えなかった。煙が充満したため、警報器が鳴り、消防へ通報したものの。
25	9	21:00	夜	アパート・マンション等	煙式	台所	その他(不明を含む。)	こんろ	居住者	鍋の空焚き	鍋に入れた甘酒をガスこんろで温めている際に、うたた寝をしてしまったもの。煙のにおい及び住警器の音に気付き、隣人が通報した。
26	9	16:30	夕方	アパート・マンション等	煙式	台所	就寝室	こんろ	隣人	鍋の空焚き	台所のガスこんろで煮物を作っている最中に居間に移動しテレビを見だしたため、火をつけていることを忘れ、その後、火を消さずに外出したため鍋が空焚き状態となり、室内に白煙が充満したものの。
27	9	17:30頃	夕方	戸建住宅	煙式	台所	居間	その他	緊急通報システム	電子レンジで食材を加熱中に煙が発生したもの	家人が電子レンジで食材を加熱中にトイレに行っていたところ煙が発生。煙が部屋に充満し居間に設置していた緊急通報システムの煙感知器が作動し、管理会社を通じて消防覚知したものの。応答があり、家人は電子レンジをとめて換気を行っており、管理会社より火災現象は無いとの情報だったが確認のため出動したものの。
28	9	17:59	夕方	アパート・マンション等	煙式	台所	台所	その他	居住者	電子レンジの異常加熱	さつまいもをラップに包み電子レンジで加熱したところ、さつまいもから出火し煙が発生。台所に設置されている住警器が作動し、作動音と臭いに気がついた居住者が電子レンジの中のさつまいもから火が出ていることを確認したが火はすぐに自然消火した。窓を開け換気後に119番通報したものの。
29	10	16:15	夕方	アパート・マンション等	煙式	居間	その他(不明を含む。)	ストーブ	居住者	ストーブ上の物品放置	居住者はベビーチェアから取り外していたテーブル(樹脂製)を居間に設置している石油ストーブの上部に置いたまま点火スイッチを入れたまま、子供と隣の洋室に移動したため、石油ストーブ本体の熱によりテーブルが溶融して煙が発生したものの。 居住者が洋室にいたところ、煙と焦げた臭いを感じるとともに洋室及び台所に設置している住宅用火災警報器が作動したため、ケルト内の水で石油ストーブ上部のテーブル溶融部分にかけたが、水の蒸発現象に驚き、消防へ一般加入電話で通報した。
30	10	16:28	夕方	戸建住宅	煙式	台所	台所	その他	居住者	オーブントースターで加熱中のパンが炭化し発煙	居室内台所のオーブントースターでパンを加熱したところ、パンが炭化し煙が発生した。台所天井部分に設置された住宅用火災警報器が発報し、居住者女兒が119通報したものの。オーブントースター内及び居室内に焼損なし。

平成29年 北海道内における住宅用火災警報器の奏功事例

※ 朝(6:00から9:59時まで)、昼(10:00から13:59まで)
夕方(14:00から17:59まで)、夜(18:00から21:59まで)、
深夜(22:00から1:59まで)、早朝(2:00時から5:59まで)

件数	月	発生時間	時間区分※	建物種類	感知した タイプ	出火場所	設置場所 (鳴動場所)	出火原因	覚知者	原因概要	発見・通報・状況等
31	10	18:13	夜	戸建住宅	煙式	台所	台所	こんろ	居住者	調査中	魚焼きグリルを使用後、食事中に台所に設置されている住警器が作動。居住者が警報音と煙に気がつき、魚焼きグリル排気口からの火煙を発見し、水をかけ消火。その後、119番通報したもの。
32	11	15:24	夕方	アパート・ マンション 等	煙式	台所	その他(不 明を含 む。)	こんろ	隣人	ガスこんろの消し忘れ	同じ長屋に住む隣人が僅かに聞こえる警報音に気が付き通報したもの。 居住者は、鍋に火をかけたまま屋外で作業をしていたが、調理中であることを忘れて別の場所へ出かけてしまった。帰宅すると自宅周辺が騒がしく、状況を聞き慌てて玄関を解錠してドアを開けると、室内に白煙が充満し居間の住宅用火災警報器が鳴動していた。 鍋の内容物が全て焦げて白煙が出ていたため、ガスこんろを消し、鍋に水を入れて冷却したもの。
33	11	10:03	昼	アパート・ マンション 等	煙式	その他	その他(不 明を含 む。)	たばこ	隣人	たばこの火種が座布団に落 下	市営住宅2階居室の座布団にたばこの火種が落ち、座布団及び床が燃えて居間の壁に設置された住宅用火災警報器が発報し、同市営住宅4階の居住者が、警報音と焦げ臭いにおいに気がつき119番通報したもの。
34	11	18:19	夕方	アパート・ マンション 等	煙式	居間	就寝室	ストーブ	居住者	ストーブ上に置いていたプ ラスチック製のがごが溶融	居住者が移動式ストーブ天板上に、ペットのおもちゃを入れたプラスチック製のかごを置いていたことに気付かず点火させたため、かごの底部が溶融し、発煙したことで、警報器が作動。鳴動音に気付いた居住者が、かごを除去するとともにストーブを消火したため、火災には至らなかったもの。
35	12	16:35	夕方	戸建住宅	煙式	台所	階段	こんろ	居住者	天ぷら油の過熱発火	台所で調理中、フライパンを火にかけてたままその場を離れたため、天ぷら油が過熱発火したもの。焦げ臭さと同時に住宅用火災警報器が発報し、台所に行くとフライパンから炎が立ち上がっていたので、ガスこんろの火を消してから119番通報した。 火は自然鎮火し、初期消火の必要はなかったが、鍋の収容物が焼損したもの。